

サービス業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	3	3	0		3
採算	2	4	0		2
資金繰り	0	5	1		Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」としています。

〈令和7年〉売上高D I 3 (対前年比 2好転) 〈令和6年〉売上高D I 1
 採算D I 2 (対前年比 5好転) 採算D I Δ3
 資金繰りD I Δ1 (対前年比 1好転) 資金繰りD I Δ2

◎サービス業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した客単価、客数、仕入単価、従業員について設問により確認したところ、客単価D Iは2、客数D Iは0、仕入単価D Iは4、従業員D Iは3となっており、対前年比で客単価D Iと従業員D Iはそれぞれ3ポイント、4ポイント増加し、客数D Iと仕入単価D Iはそれぞれ3ポイント、2ポイント減少している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ○客単価 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○客数 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○従業員 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |



設問の結果

業種別項目D I (サービス業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
客単価	3	2	1	2
客数	2	2	2	0
仕入単価	4	2	0	4
従業員	3	3	0	3

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉客単価D I 2 (対前年比 3増加) 〈令和6年〉客単価D I Δ1
 客数D I 0 (対前年比 3減少) 客数D I 3
 仕入単価D I 4 (対前年比 2減少) 仕入単価D I 6
 従業員D I 3 (対前年比 4増加) 従業員D I Δ1

〔一宮商工会地区のサービス業が直面している問題点〕

- ◎仕入単価の増加 4事業所
- ◎人件費の増加 4事業所
- ◎需要の停滞 3事業所
- ◎店舗の老朽化 1事業所
- ◎消費者ニーズへの対応 1事業所
- ◎取引条件悪化 1事業所
- ◎従業員の確保難 1事業所
- ◎熟練技術者確保難 1事業所

《サービス業者のコメント》

- ◆設備投資をおこないたいが景気の不透明感もあり、慎重な動きとなっている。
- ◆ブライダル縮小や宴会（少人数が増えた）や、人件費、仕入れも増加の為、新しい取り組みを検討中
- ◆仕入価格の急増が続いており大変。

2. 愛知県内商工会地区のサービス業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋
 ≪サービス業はすべての指標で上昇≫

サービス業では、売上額DIが9.6、採算DIは△9.7、資金繰りDIが△5.5となり、対前期比でそれぞれ5.5ポイント、2.6ポイント、11.0ポイント上昇した。

次期は、売上額DIが悪化、採算DI・資金繰りDIが上昇する見通しである。

サービス業の主要DIの対前年同期比推移

- ・売上額DI 9.6（対前期比 5.5上昇） 次期予想 6.9（対前期比 △2.7悪化）
- ・採算DI △9.7（対前期比 2.6上昇） 次期予想 △8.3（対前期比 1.4上昇）
- ・資金繰りDI △5.5（対前期比 11.0上昇） 次期予想 △4.2（対前期比 1.3上昇）

〈サービス業景況図〉

時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
07年 7月～9月		4.1 ↗		△12.3 ↗		△16.5 ↗
07年 10月～12月		9.6 ↗		△9.7 ↗		△5.5 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		6.9 ↘		△8.3 ↗		△4.2 ↗

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月のサービス業の景況は愛知県概略版では売上額DI、採算DI、資金繰りDIのすべての指標で上昇している。一宮商工会地区においても、売上高DI、採算DI、資金繰りDIの全てが好転している。今後、愛知県概略版では売上額DIは悪化、採算DIと資金繰りDIは上昇するとみられ、一宮商工会地区の業況は「変わらない」もしくは「悪くなる」見通しを持っている。